

# 看護的思考の探求 —ケアの熟成—

## 第30回精神科看護管理研究会 In Okinawa

2023年1月27日(金) 13:30~29日(日)~12:00ロイヤルホテル 沖縄残波岬

会費：宿泊+研修費 27,000円(2泊5食)      研修会のみ参加 2,000円(1日) 5,000円(3日)

【申し込み締め切り】**12月14日(水) 17時**

申込フォーム：<https://forms.gle/RWphTjUsQU4e82Px5> もしくはQRコードから必要事項の入力後、送信を願います。

問い合わせ先(事務局)：[30pnmsg@gmail.com](mailto:30pnmsg@gmail.com)      大会長：吉浜文洋



# 第30回精神科看護管理研究会 In Okinawa

2023年1月27日(金)～29日(日) ロイヤルホテル 沖縄残波岬

看護師であるあなたは今、誰から望まれてケアをしていますか。

生活のかかった仕事だから看護をしているんだ、としてもあなたのケアの軸足はどこにあるのでしょうか。

おりしも、私どもの尊敬する外口玉子先生、中井久夫先生が相次いでお亡くなりになりました。精神科看護管理研究会は、第30回を迎えるにあたって「**看護的思考の探求ーケアの熟成ー**」をテーマに対話し、自らの足元に光を灯したいと思います。

たとえば、訪問看護。その終わりは回復を得たときに訪れる穏やかな暮らしの時間の始まりでしょうか。逆に看護師が一步あらずさる中断はケアの意味が失われてしまったのでしょうか。そういえば・・・、そんなこといったって・・・、もしかすると関係のないことなのかもしれないけど・・・、こんな言葉が看護師の気持ちのなかにかすかな泡のようにとどまっています。そのかすかな語りだしからは、誰もが予想もしていなかったケアの展開が語りだされるかもしれない。

だから聞いてみたい。あらかじめ想定された結果は面白くない。看護の始まりと終わり、終わりは次への扉をひらく始まり。

みなさんはどんな扉を開いていくのでしょうか。何ものかに期待しない言葉の切れ切れな声を聞きたい、初春の沖縄で。

1月27日(金) 13:00～	1月28日(土) 9:00～	1月29日(日) ～12:00
オープニングセッション	状況に応じた訪問看護計画の見直し ー剣が峰を超えてやがてなだらかな下山へー	リフレクティングプロセス序説 -対話を通じた共育、職種を超えて-
本土復帰50年、精神病院の物語	ナイチンゲールの虚像と実像	
事例検討の熟成と言葉 ー希望を失わないカー	疲れた日にこそ、より良い睡眠を 隔離身体拘束を受けた患者との対話- 聞き取りのおずかしいときだからこそ-	精神科看護師のためのマインドフルネス・コンパッション
講談 「烈女!!フローレンス・ナイチンゲール」	「看護のための精神医学」(中井)と私	エンディングセッション
未来へ管理者セッション	ー参加者が考える精神科看護の未来ー 参加者らによるグループセッション	

この研究会は厳しい医療環境の中で、病院ごとに苦勞し工夫しているケアの実績を共有しています。学会などとは別の角度から最新の情報の共有や課題の明確化を図り、看護マネジメントに活かすことで看護職のキャリアアップを図り、看護を楽しむネットワークづくりを行っています。

また、この研究会では、恒例としてナース・オブ・ザ・イヤーを選出します。

2泊3日、共に過ごし熱く語り合きましょう。

4人で1部屋となっています。お申込み時に同室者希望や個室(別料金)希望などがありましたら、備考欄記載ください。

プログラムの詳細は近々精神科看護管理研究会のホームページでお知らせします

<http://psykangokanri.jp/>